

同期と支え合った日々



海士長 北 海斗 (きた かいと)
【現部隊】海上自衛隊 護衛艦「おおよど」
【入隊日】平成29年7月入隊
【職種】航海員
【出身校】厚岸翔洋高等学校

●学生時代の夢や思い出は？

小学校6年生の時父親から自衛隊を知り、中学生の時には海上自衛隊への入隊を目指していました。地元で護衛艦が入港した際の見学で、艦橋の司令席に座らせていただいたことが良い思い出になっています。

●入隊した動機・経緯は？

父親から自衛隊のことを勧められた際に、海上自衛隊は日本の物流輸送の中心である海上の航路(シーレーン)を守る重大な任務を果たしていることを知り、私もそのシーレーンを守る一員になりたいと考えたからです。また、海を通じて海外の国々を見て回りたくとも考えたからです。

●入隊してからの思い出や楽しかったことは？

平成30年に護衛艦の乗員の一人として、遠洋練習航海という半年余り日本を離れ、世界一周する訓練に参加しました。出国前は半年間も日本を離れることへの不安もありましたが、同世代の乗員と励ましあいながら乗り越えました。また、世界各地の寄港地に上陸し、観光できたことも思い出として残っています。

●自衛官生活の中で影響を受けた人や出来事は？

先輩方の物事に取り組む姿勢が一番影響を受けました。学生時代は朝が弱く、起床してから登校するまで時間が掛かってしまいましたが、今では目が覚めてからすぐに頭を切り替えて、行動できるようになりました。

●現在の主な仕事内容は？

航海中に周囲を航行する船舶への見張りや船舶同士のコミュニケーションを図る手旗や発光信号により、運航安全の補佐をしています。また、基地への停泊時には、国旗の掲揚などでラップを吹奏したりしています。



【見張り運航安全を補佐】

●自衛官候補生の魅力は？

任期制のため、自分の中で区切りをつけて働くことができます。任期満了時には満期金という形でまとまったお金が支給される上に、自衛隊に向かないと思っても民間企業などへの再就職や進学の支援といったサポート体制が充実していることが魅力だと思います。

●自衛官候補生になって良かったと思うエピソードは？

制度の一つである、満期金を活用して、自家用車の購入資金の一部とすることもできたことです。

●自衛隊に入って成長できたと思うことは？

感情的になることが少なくなったことです。自衛隊は集団生活が基本となります。また、航海中は波による艦の動揺なども起きやすく、気を抜くとケガにつながります。他者との協調やケガ防止には、常に落ち着いて行動する必要があるため、その点は成長したと実感しています。

●自衛官として努力していることやこれからの目標は？

海曹に昇任することです。そのために航海中も空き時間を積極的に活用し、艦上でのランニングや筋トレをして体力の強化を図ったり、先輩や同期と一緒に航海員として必要な知識や技能のスキルアップを日々行っています。

●これから自衛官候補生を受験しようと考えている皆さんへ

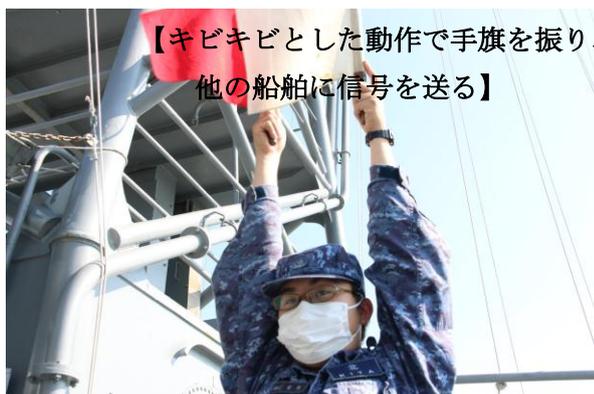
海上自衛隊の護衛艦で働くという姿は、なかなかイメージしづらいかもしれませんが、海を通じて、人々の生活を守るという誇りを持つ仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

【航海員の象徴でもあるラッパ】



【出勤用の自転車と「おおよど」】

【キビキビとした動作で手旗を振り、他の船舶に信号を送る】



【艦橋で真剣な眼差しで勤務している姿】